

「親の学び」次世代編 実践事例紹介

～津奈木町立津奈木中学校における実践～



【芦北教育事務所】

学級活動における 次世代編「夢をもとう！」の活用



【担任による導入の様子】



【班における意見交換の様子】



【学習の感想を発表している様子】



【担任による学習のまとめの様子】

【講座の日程等】

日にち：令和3年10月28日（木）
場 所：津奈木町立津奈木中学校
日 程：6校時（14：30～15：20）
対 象：津奈木中学校 第2学年 39名
進行役：芦北教育事務所 社会教育主事 塩根 暁

【講座の説明】

5時間目の講座「いろいろな仕事に関心をもとう！」と本講座に関連を持たせたプログラム構成にした。本講座を通して津奈木中学校における学校教育目標及び学級目標の実現に迫るとともに、生徒の自立と自律を育むコミュニケーションプログラムとして実施した。

【プログラムの実際】

- ① 学級担任による導入（学習のねらいの確認）
- ② トレーナーによるアイスブレイク
- ③ それぞれが抱く「夢」を書き出す
- ④ 夢を実現するために必要なことについて考える
- ⑤ 班ごとにそれぞれの夢について、意見交換を行う
- ⑥ トレーナーのまとめ
- ⑦ 生徒の振り返り（学習の感想を書く、発表する）
- ⑧ 学級担任のまとめ

【生徒の感想】

- 自分の夢に向けて、日常の中で何ができるのか、今しかできないことは何なのかなど、深く考えることができた。今まで苦手と感じていたことも、夢に向かう一歩につながるよう、積み重ねが大切だと思った。
- これまで他の人から、自分の夢についての助言やアイデアを聞く機会はあまりなかった。この学習を通して、友達からのアドバイスを聞きながら夢について深く考えることができて良かった。夢を実現するために今からできることはたくさんあるので、少しずつ実行していきたい。
- 今のままでは、私の夢は実現できないと思うので、「二度と訪れない今」を大切にしていきたいと思った。そして、もっともっと練習をして夢を叶え、クラスみんなをびっくりさせたいと思った。

【教職員の感想】

- 学校の教育目標、学級目標に言及しながら、常にめあてを意識した授業構成だった。総合的な学習の時間のテーマとリンクすることもあり、生徒の興味関心を高める手立てがたくさんあり、とても勉強になった。
- 生徒が親になったときのことを考える貴重な機会になったと思う。将来を考えることで、命の大切さも知ることができた授業だった。